

# 千葉県公立高校学力検査の結果

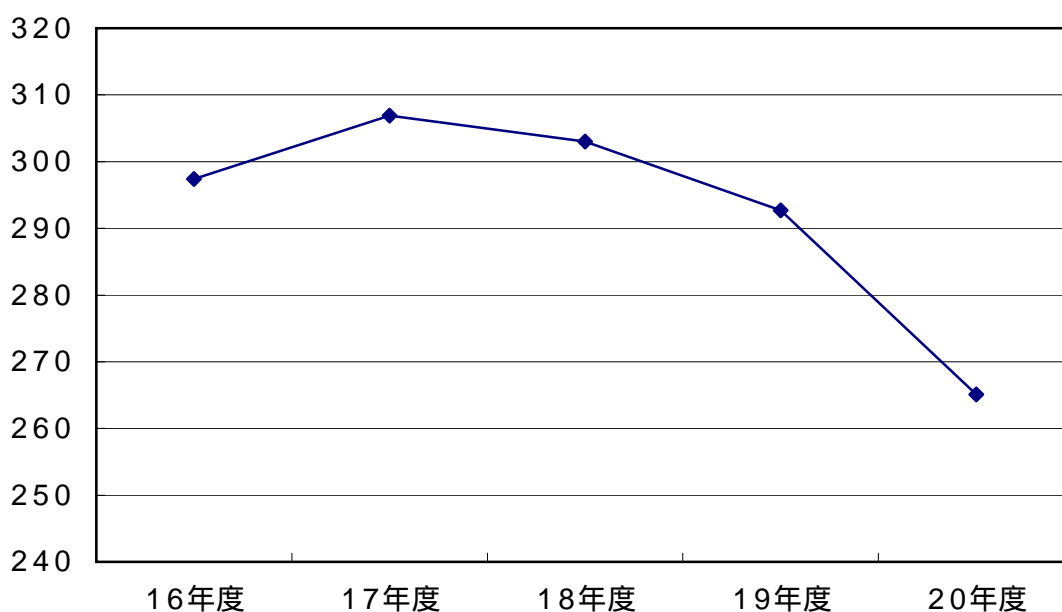
(平成20年5月 千葉県教育庁/教育振興部指導課公表)

## 1.教科別の平均点及び標準偏差

	年度	国語	社会	数学	理科	英語	5教科得点合計
平均点	20年度	60.9	50.5	51.5	51.2	51.0	265.1
	19年度	63.5	64.2	54.3	59.0	51.7	292.7
標準偏差	20年度	18.6	22.0	19.8	20.7	23.9	96.9
	19年度	18.6	22.6	18.5	21.2	24.4	98.1

## 2.過去5年間の平均点の推移

	国語	社会	数学	理科	英語	5教科得点合計
平成20年度	60.9	50.5	51.5	51.2	51.0	265.1
平成19年度	63.5	64.2	54.3	59.0	51.7	292.7
平成18年度	63.8	60.1	52.5	60.4	66.1	303.0
平成17年度	62.2	66.2	53.1	65.0	60.5	306.9
平成16年度	51.5	63.4	57.3	63.0	62.2	297.4



## 1 国語

### (1) 出題方針

- ア 学習指導要領に基づき、三領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の基礎的・基本的な力がみられるようにした。
- イ 各領域の学習に役立てるための、基礎的な事項として位置づけられている言語事項の力がみられるようにした。
- ウ ささまざまな文章について、内容を的確に理解し、書き手の伝えたいことなどを考察する力がみられるようにした。
- エ 与えられた材料について、自分の言葉で適切にまとめたり、相手に的確に伝えたりする力がみられるようにした。

### (2) 正答率

内容	問題・配点	正答率の平均(%)
話すこと・聞くこと及び書くこと	一 20点	58.7
言語事項（漢字を読む）	二 8点	73.9
言語事項（漢字を書く）	三 8点	57.3
言語事項	四 6点	58.4
読むこと（説明的文章）	五 23点	57.3
読むこと（文学的文章）	六 23点	63.7
読むこと（古典）	七 12点	48.0

### (3) 概況

全体の平均点は60.9で、前年度と比べて2.6点低くなった。

内容別の正答率は「言語事項（漢字を読む）」が最も高く、ついで「読むこと（文学的文章）」、「話すこと・聞くこと及び書くこと」、「言語事項」、「言語事項（漢字を書く）」、「読むこと（説明的文章）」の順に低くなり、「読むこと（古典）」が最も低かった。

(4) 問題別の正答率及び問題の概要

大問	小問	項	正答率
一	(1)		95.9
	(2)		35.9
	(3)		77.1
	(4)	12点	25.8
		8~11点	40.9
		4~7点	16.6
		1~3点	6.0
二	(1)		69.2
	(2)		72.6
	(3)		73.4
	(4)		80.3
三	(1)		75.5
	(2)		71.1
	(3)		68.5
	(4)		13.9
四	(1)		89.5
	(2)		9.2
	(3)		76.6

大問	小問	項	正答率
五	(1)		48.7
	(2)		78.0
	(3)		46.9
	(4)		41.3
	(5)		38.5
	(6)		90.6
六	(1)		52.7
	(2)		83.2
	(3)		81.2
	(4)	4点	64.3
		2点	24.2
	(5)		30.4
(6)		70.6	
七	(1)		54.0
	(2)		84.2
	(3)		25.0
	(4)		28.8

一 放送による聞き取り検査及び作文

(1) 内容把握 (2) 内容把握 (3) 内容把握 (4) 放送の内容についての作文

二 漢字の読み

三 漢字の書き

四 言語事項

(1) 敬語 (2) 動詞 (3) 主述の対応

五 説明的文章の読解(清水義範「行儀よくしろ。」より)

(1) 言語の意味 (2) 品詞の用法 (3) 内容把握 (4) 返り点 (5) 内容把握  
(6) 主題把握

六 文学的文章の読解(熊谷千世子「あの夏の日のとびらを開けて」より)

(1) 動詞の活用の種類 (2) 心情把握 (3) 内容把握 (4) 心情把握  
(5) 比喩表現 (6) 主題把握

七 古典の読解(根岸鎮衛「耳袋」より)

(1) 内容把握 (2) 歴史的仮名遣い (3) 内容把握 (4) 内容把握

# 1 数学

## (1) 出題方針

- ア 学習指導要領に基づき、中学校における数学の基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかがみられるようにした。
- イ 多面的にもものを見ることや論理的に考えることの基となる、数学の理解力がみられるようにした。
- ウ 事象を数理的に考察し、処理するための判断力及び表現力がみられるようにした。
- エ 数学的な見方や考え方を総合的に活用するための思考力がみられるようにした。

## (2) 正答率

領域・内容		問題・配点		正答率の平均(%)	
数と式	数と式の計算	1の(1)~(6)	30点	76.7	76.7
		2の(1)	5点		
図形	平面図形	2の(3),(6)	10点	29.1	34.4
		4の(2)	5点		
	空間図形	2の(5)	5点	37.6	
	命題の証明	4の(1)の(a),(b)	4点	51.0	
4の(2)の(c)		6点			
	三平方の定理	5の(1),(2)	10点	20.0	
数量関係	比例・反比例	2の(2)	5点	84.7	62.7
	関数 $y=ax^2$	3の(1),(2),(3)	15点	40.6	
	確率	2の(4)	5点	62.8	

## (3) 概況

全体の平均点は51.5点で、前年度と比べて2.8点低くなった。

内容別の正答率は、「比例・反比例」が84.7%で最も高く、次に「数と式の計算」が76.7%であった。以下、「確率」、「命題の証明」、「関数  $y=ax^2$ 」、「空間図形」、「平面図形」、「三平方の定理」の順に正答率は低くなっている。「命題の証明」の記述部分の正答率は10.5%であった。

(4) 問題別の正答率及び問題の概要

大問	小問	項	正答率
1	(1)		98.8
	(2)		80.7
	(3)		59.7
	(4)		69.9
	(5)		83.4
	(6)		73.6
2	(1)		70.8
	(2)		84.7
	(3)		77.7
	(4)		62.8
	(5)		37.6
	(6)		9.0

大問	小問	項	正答率
3	(1)		60.0
	(2)		57.8
	(3)		4.0
4	(1)	(a)	70.0
		(b)	72.6
		(c)	6点
	3点		4.0
	(2)		0.6
5	(1)		35.8
	(2)		4.1

- 1 (1)(2) 正負の計算問題 (3)(4) 文字式の計算問題  
 (5) 根号の計算 (6) 因数分解
- 2 (1) 式の値 (2) 反比例 (3) 多角形の角 (4) 確率 (5) 錘体の体積  
 (6) 作図
- 3 (1)(2)(3) 関数  $y=ax^2$
- 4 (1)(a)(b) 証明の穴埋め (c) 証明の記述 (2) ひし形の性質
- 5 (1)(2) 三平方の定理

# 1 英語

## ( 1 ) 出題方針

- ア 学習指導要領に基づき、中学校における英語の基礎的・基本的な知識や技能が、全領域にわたり身に付いているかみられるようにした。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通しての理解力や応答力、大切な事項を落とさず聞き取り、適切に判断して答える力などがみられるようにした。また、「話すこと」の領域では、対話文等により、文脈を理解し適切に発話する力がみられるようにした。
- ウ 「読むこと」の領域では、短文においては、筆者の意図や考え、文脈などを把握する力がみられるようにした。また、長文においては、文や句の意味についての知識だけでなく、文章の概要や要点を把握したり、文脈の関係を理解する力や、図や表から読み取った情報を基に判断し思考し、適切に理解する力がみられるようにした。
- エ 「書くこと」の領域では、基本的な単語を書く力と同時に、条件作文の中で英語を用いて自分の考えなどをまとめ、表現する力がみられるようにした。

## ( 2 ) 正答率

内容		問題・配点		正答率の平均(%)	
聞くこと 話すこと	リスニングテスト (まとまった文章を聞いて答える)	1	6点	53.9	48.4
		3	9点		
	リスニングテスト(絵を見て答える)	2	6点	34.9	
読むこと	英文の内容理解、適語補充、内容選択、英問英答	4	18点	61.0	56.8
		6	8点		
	適語選択、内容選択、適語補充	5	25点	51.7	
書くこと	対話の流れに合うように英語で自分の考えを書く	7	6点	14.5	14.5
話すこと 読むこと	対話の流れの理解、適語選択、文の完成	8	12点	46.1	46.1
書くこと	文構成	9	10点	51.0	51.0

## ( 3 ) 概況

全体の平均点は51.0で、前年度と比べてほとんど差はない。

内容別では、読むことの「英文の内容理解、適語補充、内容について選択、英問英答」の正答率が高く、書くことの「対話の流れに合うように英語で自分の考えを書く」と「聞くこと」の「絵を見て答える」の正答率が低かった。

小問で正答率が高かったのは、大問4の(2)の内容についての選択問題、大問6との基本的な単語を書く問題であった。また、逆に正答率が低かったのは、大問2 No.1の絵を見て答える問題と大問7の対話の流れに合うように英語で自分の考えを書く問題であった。

( 4 ) 問題別の正答率及び問題の概要

大問	小問	項	正答率
1	No.1		66.8
	No.2		52.2
2	No.1		18.1
	No.2		51.6
3	No.1		53.0
	No.2		44.8
	No.3		52.6
4	( 1 )	A	38.4
		B	43.6
		C	61.6
	( 2 )		27.0
			81.6
	( 3 )		61.5
			62.1
5	( 1 )		72.9
			31.1
	( 2 )		65.3
	( 3 )		39.9
	( 4 )		53.1
	( 5 )		64.9
		62.5	

大問	小問	項	正答率
5	( 5 )		44.2
			31.1
6			68.4
			86.7
			54.5
			85.9
7			14.5
8	( 1 )		45.2
			49.3
			64.4
			59.3
	( 2 )		30.6
	( 3 )		27.7
9		( 1 )	47.3
		( 2 )	58.0
		( 3 )	57.5
		( 4 )	56.4
		( 5 )	35.6

- 1 リスニング No.1 No.2 対話文の内容理解と応答
- 2 リスニング No.1 No.2 短文の詳細理解
- 3 リスニング No.1 No.2 対話文の内容理解 No.3 短文の内容理解
- 4 短文読解  
 ( 1 ) 文脈の把握 ( 2 ) 英問英答 内容理解 ( 3 ) 内容理解
- 5 長文読解  
 ( 1 ) 文脈の把握 ( 2 ) 文脈の把握 ( 3 ) 内容・グラフの理解 ( 4 ) 内容理解  
 ( 5 ) 文脈の把握
- 6 基本的な単語のつづり
- 7 英文による自己表現
- 8 対話文読解  
 ( 1 ) 対話の流れの把握 ( 2 ) 内容・資料の理解 ( 3 ) 内容理解
- 9 文法及び文構造  
 語形変化：( 1 ) 過去分詞 ( 2 ) 序数  
 語順整序：( 3 ) 慣用句 ( 4 ) 現在完了形 ( 5 ) 不定詞

## 1 社会

### (1) 出題方針

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野の各分野の相互関連に配慮して、各分野にまたがる総合的な学習の成果がみられるようにした。
- イ 基礎的な知識・技能が身に付いているかをみられるようにするとともに、現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度がみられるようにした。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用して、社会事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力がみられるようにした。
- エ 社会事象を総合的に考察する力や筋道を立てて思考する力もみられるようにした。

### (2) 正答率

内容		問題・配点		正答率の平均(%)	
総合	総合問題	1	12点	60.2	
地理的分野	日本地理・地形図	2	17点	49.7	47.2
	世界地理	3	14点	44.2	
歴史的分野	前近代史	4	15点	60.9	52.8
	近・現代史	5	17点	44.7	
公民的分野	日本の政治制度	6	9点	57.2	46.3
	国際社会	7	6点	45.8	
	国民生活と経済・社会	8	10点	35.8	

### (3) 概況

全体の平均点は50.5で、前年度と比べて13.7点低くなった。

内容別では、歴史的分野の「前近代史」、公民的分野の「日本の政治制度」の正答率が高く、地理的分野の「世界地理」、歴史的分野の「近・現代史」、公民的分野の「国民生活と経済・社会」の正答率が低かった。

(4) 問題別の正答率及び問題の概要

大問	小問	項	正答率	
1	(1)		80.8	
	(2)		42.0	
	(3)		65.1	
	(4)		52.7	
2	(1)		60.2	
			73.7	
	(2)		49.9	
	(3)		31.8	
3	(1)		38.7	
			74.9	
	(2)	X 選択率 31.8%		
				19.9
				20.5
		Y 選択率 68.2%		
		44.1		
		29.4		

大問	小問	項	正答率
4	(1)		70.4
	(2)		36.9
	(3)		62.8
	(4)		81.6
	(5)		53.0
5	(1)		14.5
	(2)		55.0
	(3)		44.0
	(4)		53.2
	(5)		56.9
6	(1)		63.1
	(2)		22.9
	(3)		85.6
7	(1)		73.3
	(2)		18.2
8	(1)		69.7
	(2)		21.1
	(3)		16.5

1 総合

- (1) 千葉県の歴史、並べかえ (2) 千葉県の産業構造の変化、表の読み取り  
 (3) 各国の電力構成、グラフの読み取り (4) 火力発電用の燃料資源、グラフの読み取り

2 日本地理・地形図

- (1) 等高線の読み取り 地形図の読み取り (2) 各県の特徴、表の読み取り  
 (3) 県名及び県庁所在地名の確認 (4) 各県の工業の特徴、グラフの読み取り

3 世界地理

- (1) 時差の求め方 風景写真の読み取り  
 (2) 各国の自動車生産と輸出 各国の特徴、グラフの読み取り

4 前近代史

- (1) 米づくりと社会の変化 (2) 律令制度の特徴 (3) 絵画資料の読み取り、並べかえ  
 (4) 豊臣秀吉の政策 (5) 江戸幕府の大名統制、文献資料の読み取り

5 近・現代史

- (1) 自由民権運動の拡大、論述 (2) 明治維新にともなう社会の変化、絵画資料の読み取り  
 (3) 第一次世界大戦、図の読み取り (4) 戦後土地制度史、グラフの読み取り  
 (5) 立憲政治史、年表の読み取り、並べかえ

6 日本の政治制度

- (1) 選挙制度のしくみ (2) 地方自治 (3) 民主政治、グラフの読み取り

7 国際社会

- (1) 国際連合のしくみ (2) 冷戦、地域紛争、PKO、グラフの読み取り

8 国民生活と経済・社会

- (1) 資本主義と政府の役割 (2) 需要・供給の関係 (3) 税制の特徴、論述

# 1 理科

## (1) 出題方針

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野・第2分野からバランス良く出題した。
- イ 基礎的・基本的な知識や観察・実験の技能が身に付いているかがみられるようにした。
- ウ 観察・実験をとおして身に付けた、科学的に調べ理解する力がみられるようにした。
- エ 図や表を基に、科学的に判断する力や結果を表現する力がみられるようにした。
- オ 課題を多面的、総合的にとらえ、科学的に思考し課題を解決する力がみられるようにした。

## (2) 正答率

内容		問題・配点	正答率の平均(%)			
第一分野	物理	電流とその理由	2	12点	50.2	39.8
		運動とエネルギー	6	13点	29.4	
	化学	物質のすがた 化学変化と原子分子	4	12点	56.3	53.6
		物質と化学変化の利用	8	13点	50.9	
第二分野	生物	植物の生活と種類 生物の細胞と生殖	1	13点	65.7	64.5
		動物の生活と種類	5	12点	63.1	
	地学	大地の変化	3	12点	45.8	46.7
		地球と宇宙	7	13点	47.5	

## (3) 概況

全体の平均点は51.2で、前年度と比べて7.8点低くなった。

内容別では、「植物の生活と種類、生物の細胞と生殖」の正答率が高く、「運動とエネルギー」の正答率が低かった。

小問で特に正答率が高かったのは、4の(1)のにおいの安全なかぎ方を問う問題、7の(1)の太陽の動きを記録する方法を問う問題、8の(3)の中和を問う問題であった。また、逆に正答率が低かったのは、6の(3)の金属球の位置と運動の関係を問う問題、6の(1)のストロボの発光の間隔を問う問題であった。

(4) 問題別の正答率及び問題の概要

大問	小問	項	正答率
1	(1)		69.7
	(2)		62.1
	(3)		67.3
	(4)	a	74.2
		b	55.4
2	(1)		23.7
	(2)		55.8
	(3)		66.2
	(4)		54.9
3	(1)		52.9
	(2)		68.2
	(3)		20.7
	(4)		41.3
4	(1)		95.6
	(2)		65.9
	(3)		20.8
	(4)		42.9

大問	小問	項	正答率
5	(1)		58.2
	(2)		68.3
	(3)		73.7
	(4)		52.0
6	(1)		19.2
	(2)		26.5
	(3)		13.7
	(4)		58.2
7	(1)		88.4
	(2)		31.9
	(3)		36.5
	(4)	夏至の日	45.2
秋分の日		35.6	
8	(1)		57.9
	(2)		36.9
	(3)		80.5
	(4)		28.3

1 校庭の植物観察

(1) 植物の葉の広がり方の意義 (2) 植物の分類 (3) 観察方法 (4) 植物の有性生殖

2 電流と磁界

(1) (2) コイルのまわりの磁界 (3) 電流が磁界の中で受ける力 (4) 電磁誘導

3 地震

(1) 震度階級 (2) 地震波の速さ (3) 震源の深さ (4) 地震波の記録

4 物質の性質

(1) においの安全なかぎ方 (2) 物質の状態変化 (3) 融点 (4) 混合物の分離

5 メダカの血流観察

(1) 実験方法 (2) 毛細血管の様子 (3) (4) 血液のはたらき

6 金属球の運動とエネルギー

(1) ストロボの発光の間隔 (2) 金属球の速さ (3) 金属珠の位置と運動の関係  
(4) 金属球の運動のコースと運動エネルギー

7 太陽の1日の動き

(1) 太陽の動きを記録する方法 (2) 南中高度 (3) 観察結果  
(4) 四季の変化と南中高度のちがい

8 化学電池

(1) 水素の性質 (2) 化学変化と質量 (3) 中和 (4) 中和した液体の性質